

# 津久見市津波ハザードマップ

## 宮本・警固屋・入船・川上区

### 津波浸水予測図

今回、市内全域（八戸地区除く）の津久見市津波ハザードマップ（津波浸水予測図）を作成しました。  
 平成24年8月に国から現時点での最新の科学的知見に基づく、「発生しうる最大クラスの南海トラフ巨大地震」の予測が公表され、想定データのケース11を基に大分県の有識者会議が大分県津波浸水予測調査を行い、津久見市では今回このような津波浸水域が示されました。これはあくまでも予測であり、すばやく赤色実線の海拔10m以上地域の津波一時避難所へ避難して下さい。

平成25年4月作製

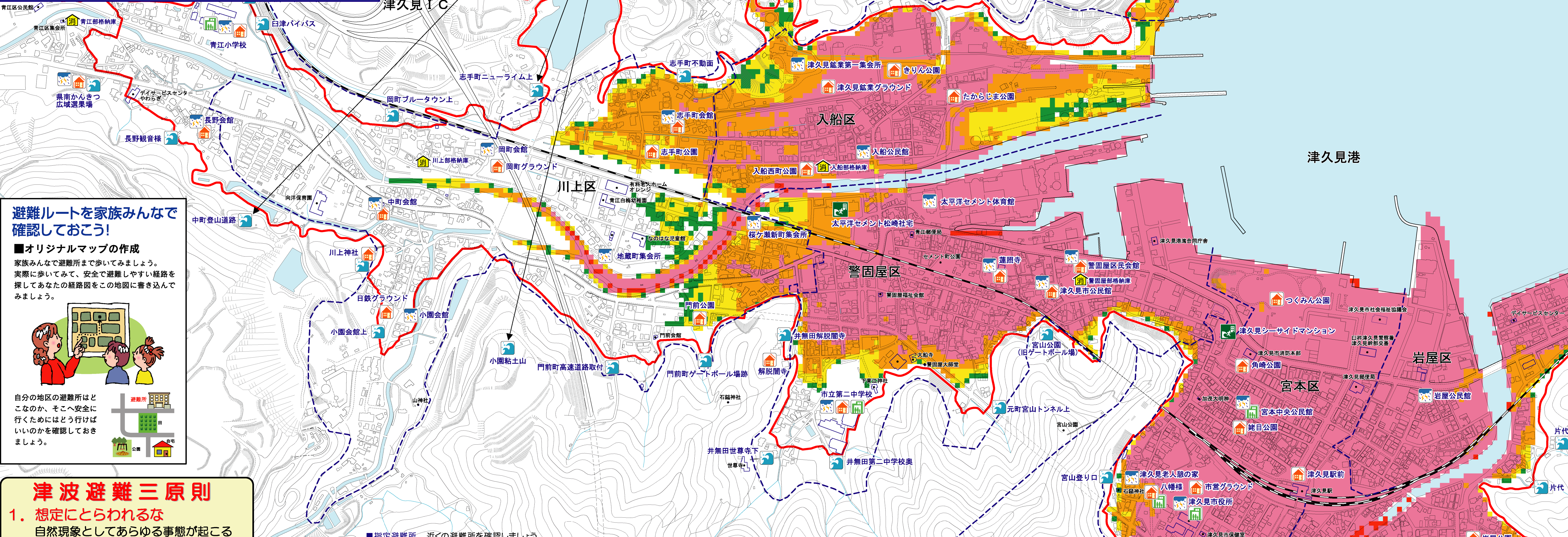
わが家の避難場所は、

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

法人所有地のため、緊急時（津波警報及び大津波警報が発表されたとき。）又は避難訓練（市又は川上区が主催の場合）に限り、使用することが可能となりますので、普段は立入ることができません。御注意ください。



#### 避難ルートを家族みんなで確認しておこう!

■オリジナルマップの作成

家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探してあなたの経路図をこの地図に書き込んでみましょう。

自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかわかるように確認しておきましょう。

#### 津波避難三原則

1. 想定にとらわれるな  
自然現象としてあらゆる事態が起こる
2. 最善を尽くせ  
その状況下でできる限りの行動をとる
3. 率先避難者たれ  
集団心理が働き多くの人を救う

参照：群馬大学大学院 片田敏孝教授著「人が死なない防災（集英社新書）」

#### 津波からの避難ポイント

- できるだけ高いところに逃げる。
- 自分から進んで逃げる。
- もっと安全なところまで逃げられないか考える。
- 津波が来たときは、一度波が引いて、海面が下がるとは限らず、いきなり高い津波が襲ってくることもある。
- 体で感じるゆれが小さいからといって、津波も小さいとは限らない。ゆれが小さくても、津波警報が出たときは、すぐに避難すること。
- 津波は地震のあと、すぐに襲ってくる場合があります。急いで、できるだけ高い場所に逃げ、一度避難した後も安心しないでより高い場所へ逃げましょう。
- 津波は川もさかのぼり、何キロもさかのぼった津波が氾濫することがあるので避難するときには注意しましょう。

(出典：気象庁「津波から逃げる」)

■指定避難所 近くの避難所を確認しましょう

地区名	風水害	地震	津波	海拔 (m)	収容避難所	収容人員 (人)	TEL
宮本区	市役所	津久見駅前	津久見シーサイドマンション4階以上高層部分(津波避難ビル)		市役所	400	82-4111
	老人憩いの家 2階	つくみん公園	津久見高等学校(津波避難ビル)		第一中学校体育館	550	
	明光保育園 2階	宮本東公園	大友公園(東)	H=10	八幡様	200	82-2838
	宮本中央公民館	宮本西公園	大友公園(南)	H=20	長泉寺	200	82-2474
	市営グラウンド	宮山登り口		H=12	宮本中央公民館	100	
警固屋区	姥目公園	寺ノ辻		H=10			
	角峰公園	長泉寺墓地		H=12			
	八幡様	長泉寺					
	警固屋区民会館	井無田解脱閣寺	H=10	第二中学校	900	82-2260	
	市公民館 2階	市公民館	元町宮山トンネル上	H=10	第二中学校体育館	400	
入船区	第二中学校 2階	第二中学校	宮山公園(旧ゲートホール場)	H=10			
	蓮照寺	蓮照寺	井無田世尊寺下	H=10			
	太平洋セメント体育館	解脱閣寺	井無田第二中学校奥	H=10			
	入船公民館	入船西町公園	下浦トンネル手前	H=12	南江小学校	890	82-2054
	津久見館業第一集会所	津久見館業グラウンド	太平洋セメント松崎社宅4階以上高層部分(津波避難ビル)		南江小学校体育館	300	
川上区	中町会館	中町会館	志手町不動面	H=13	第二中学校	900	82-2260
	小園会館	川上神社	志手町ニューライム上	H=10	第二中学校体育館	400	
	岡町会館	岡町グラウンド	岡町ブルータウン上	H=13	南江小学校	890	82-2054
	地蔵町集会所	日鉄グラウンド	門前町高遠道路取付	H=18	南江小学校体育館	300	
	志手町会館	志手町公園	川上神社	H=16			

#### 地図の見方

地形等  
 - 行政界、地区界  
 - 公共施設・主要施設  
 - 海拔10m以上地域  
 - 消防格納庫

避難場所等  
 - 風水害一時避難所: 大雨や台風などによる河川等の氾濫や浸水時に、避難するところ  
 - 地震一時避難所: 地震が発生した時に避難するところ  
 - 津波一時避難所: 津波が発生した時に避難するところ  
 - 津波避難ビル(施設): 津波が発生した時に避難するビル(施設)  
 - 市指定収容避難所: 市の地域防災計画により指定された収容避難所

津波浸水深  
 - 10m以上: 3階建ての建物(あるいは3階部分まで)が完全に水没します。  
 - 5m以上10m未満: 2階建ての建物(あるいは2階部分まで)が水没します。  
 - 2m以上5m未満: 木造家屋のほとんどが全壊します。  
 - 1m以上2m未満: 津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなります。  
 - 0.3m以上1.0m未満: 避難行動がとれにくく(動くことができません)なります。  
 - 0.1m以上0.3m未満: 避難行動がとれにくく(動くことができません)なります。

西ノ内区 彦ノ内区

この地面は 海拔 4m 津波避難場所

この地面は 海拔 10m 津波避難目標地点

◎津波一時避難所の表示  
 津波の高さは、東京湾平均海面(Tokyo Peil:T.P.)で発表されるため、一時避難所として道路(農道、里道等を含む。)に、概ね海拔10m(T.P.)の地点に「津波避難目標地点」を掲示しています。  
 ◎津波一時避難所への避難誘導の表示  
 避難誘導の表示として、地盤の海拔(T.P.)及び避難方向を矢印で掲示しています。幹線道路(千怒〜青江(国道)、彦ノ内〜青江(県道))の誘導表示については、渋滞等の混雑を避けるため直進の表示とし、幹線道路以外の市道等については、最寄の一時避難所に誘導するように表示しています。

1:4000

